

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政活動報告>

第58号

2006年7月15日

一月刊一

古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@fukurukawa2002.com



政策サポーター募集！

皆様お元気ですか！

毎回「古川なおきレポート」をお読みいただき、本当にありがとうございます。皆様が市政に関心を持っていただくことが何よりも大事なことと思ひ、発行し続けてまいりますので、今後ともよろしく願ひします。

さて、今日は皆様からさまざまな市政へのご意見やご質問をいただくことができると思ひ特集させていただきました。裏面はFAX送信用紙になっていますので、どしどしご意見をいただければ幸いです。「こんなテーマで特集したらどうか？」など「古川なおきレポート」自体に対する感想やご意見も大歓迎です。

市議員をさせていただき、常に大切に思っていることは、「多くの皆様に市政に関心を持っていただくこと」とそのためにも「信頼される政治をつくること」です。私の事務所には、多くのインターンの大学生が出入りしていますが朝の駅頭でのレポート配布活動を手伝う中、学生以上に無気力、無関心な大人が多いと感じているようです。無関心＝無責任かどうかは判断が分かれるところですが、社会の仕組みやルールを決め、社会問題を解決する政治に関心が持たれなければその国は活力を失い、発展して行かないことが懸念されます。また、学生からは私と出会うと政治家のイメージが変わったと感想を聞かれます。彼らが思っていた政治家のイメージは「お金に汚い」「うそを平気でつく」等決して良いとは言えません。そういう私も学生時代や横浜銀行に勤めていた頃は、政治家が普段何をしているのか分からないことに腹立たしさを覚えました。だからこそ自分が政治家になったら自ら進んで情報を公開し、市政を報告していこうと思ひ朝の活動報告を始めました。最初は不審な顔をされたり「朝からうるさい」と怒鳴られてしまうこともありましたが、長年続けていると「がんばれよ！」などとお声がけいただけるようになり、多くの方にレポートを手にとっていただけるようになりました。

また、自分でなければできないことを一つでも多く実現させたいと思ひ、コールセンター、公用車の廃止、ネーミングライツの導入によるニッサンスタジアム、小学校からの英会話教育など、行政業務の効率化や市民サービスを向上させていく様々な先進的な政策を議会で提案し、実現することができました。

しかし今後もさらに政策提言していくためには、多くの方の力をお借りしなければなりません。2人の公設秘書と1人の政策秘書がいる国会議員と違い地方議員は秘書がいないのです。衆参議会事務局の人数を比べても横浜市議会事務局の職員数は少ないのが現状です。昔のように名誉で議員をする時代ではなく、政策を立案することが地方議員にも求められる時代に、

一人で活動するには限界があります。また横浜市は人口規模が360万人で全国最大の政令指定都市です。

そこで、**今回は皆様の中で市政に対する政策を一緒に考えていただける政策サポーターを募集したいと思います。**もちろん皆様のお仕事や生活もお忙しいことと思ひますが、私の事務所で、また時にはご飯でも食べながら、市政に対しての考えを意見交換し、政策につなげていきませんか。先日、朝の駅頭でお声がけいただいた方から、「二俣川行政サービスコーナー」の効率化や「公立学校のトイレ改善」の提案など具体的な提案をお会いして聞かせていただきました。お二人とも都内の企業にお勤めする現役の管理職の方でした。誰かの紹介ではなく、駅で演説している古川さんに、メールだけでなく直接話しかけたと言っていたとき大変感激しました。また、私がレポートで提案している具体的な政策や活動に対してメールでコメントくださるOLの方もいらっしゃるの、今度は是非働く女性の視点から政策サポーターに加わっていただければと思ひます。もちろん大学のゼミで勉強されている学生の方や主婦の方、企業でご活躍されている方や他都市から引っ越しされて横浜市の行政サービスに不満を感じておられる方、ご退職されていらっしゃる方など、さまざまな立場の方々と交流させていただきたいと思ひます。横浜市政発展のために、ぜひ積極的なご参加をお待ちしています！

「市民との協働」といわれますが、政治家と一緒に政策を立案するNPOは欧米と比べて日本はまだ少ないのが現状です。IT社会の中で民主主義も変貌を遂げて行くと思ひますが、これからの政治家はメール等でコミュニケーションが取りやすくなった分、市民の皆様と一緒に政策を立案したり行政を監査したりする時代になってくると思ひます。そんな**将来を先取りして、是非一緒に考えましょう！対等を原則とした明るく、楽しいサポーター会議で、旭区から横浜を変える意気込みでがんばりたいと思ひます。政策サポーターについて何かご質問がございましたら遠慮なくお問い合わせください。**

現在、私の事務所にはさまざまな相談が寄せられています。介護や医療のこと、学校開放や教育問題、カーブミラーの設置や道路の舗装など、ご意見やご要望は多岐に渡ります。個人的な悩みや苦情が一般的な制度や条例、規則の改革につながればもっと旭区や横浜市は住民満足度が向上します。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

暑い日が続いておりますが、お身体にお気をつけいただき、元気にお過ごしください！

横浜市議員 **古川 直季**

皆様のご意見をお聞かせください！

FAX又はメールにてお送りください！(下記参照)

Q1. これまでの古川なおきレポートでどのようなテーマに関心がありましたか？(○をおつけください)

1. 市政改革について(市民サービス向上、行政効率化など)
2. 受動喫煙の防止について
3. 教育問題について
4. 横浜市の予算、財政について
5. 議会報告・議会改革について
6. 旭区の防犯状況について
7. 私の活動について(NPO活動、インターンシップなど)

8. 古川なおきレポートへのご意見をお聞かせください

Q2. 横浜市政で関心のあるテーマ、改革が必要だと思うことはなんですか？(左項に○を、複数可)

医療 介護 高齢者福祉 子育て支援

生涯教育 文化芸術 スポーツ振興

道路 街づくり 交通問題 環境問題

防犯問題 地域活性化 健康問題

経営改革 行政サービス 公務員改革

議会改革 経済活性化 観光資源活性化

横浜市政へのご意見をご自由にご記入ください

※さしつかえなければお聞かせください。(アンケートの集計、サポーターへの連絡に使用させていただきます。)

お名前

ご住所

PCメールアドレス

携帯メールアドレス

※ご参加希望の方は□にレをご記入ください。

政策サポーターに参加します！

政策サポーター参加希望の方には後日古川なおき本人が、直接連絡させていただきます。

※この「古川なおきレポート」は郵送以外にボランティアの方により旭区各ご家庭に配布されています。ポスティングサポーター(古川レポートの配布活動)も同時に募集しておりますので、是非ご協力お願いいたします(していただける場合は□にレを)。

ポスティングサポーターに参加します！

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ37才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成18年度
 市民活力推進教育委員会副委員長
 青少年・市民スポーツ特別委員会
 自民党横浜市支部連合会青年局長
 横浜青年会議所(JC)
 明治大学公共政策大学院在学中
 日本動物福祉協会横浜支部支部長
 鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・エイド・ジャパン理事
 卓球本間クラブ所属

FAX:366-9700 メール:naoki@fukurukawa2002.comへ